HDE Controller X

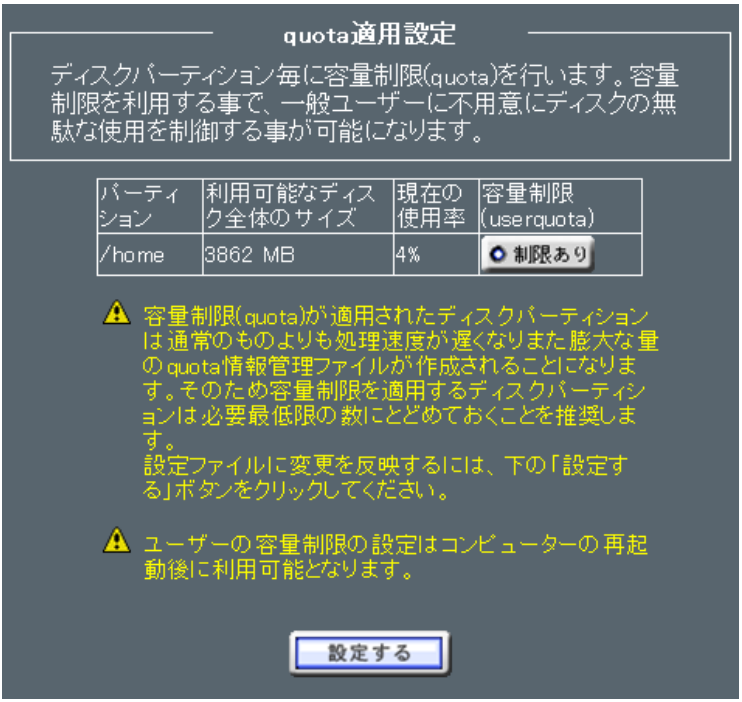
1-27.　ディスク使用容量制限

1. パーティション設定

ディスクのパーティション毎、ユーザー毎、サイズ/ファイルiノード別にディスクの使用量の制限を行います。

■ 容量制限の設定

パーティション設定を選択すると以下の画面が表示されます。



容量制限を適用するパーティションの「容量制限」のボタン(「制限無し」ボタン)をクリックします。ボタンが「制限あり」に変わります。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

> ⚠ OS インストール時に/home パーティションを設定されない場合、ユーザー毎のディスク容量制限をご利用いただけません。特にOS プレインストールマシンをご利用の際は、ご注意ください。

容量制限を適用した場合、ディスク I/O が通常より遅くなります。容量制限を使用するパーティションは、必要最低限の数にすることを推奨します。

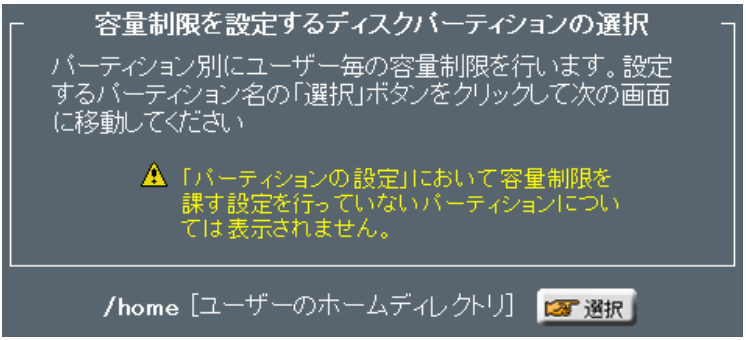
設定はコンピューターの再起動後に適用されます。

2. 容量制限一覧

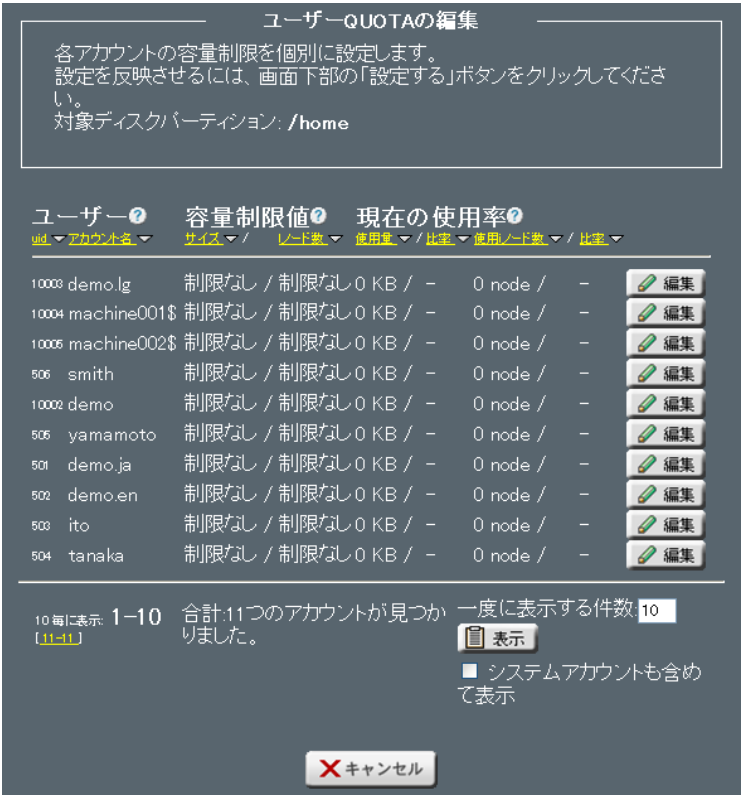
容量制限を適用しているパーティションから、ユーザー毎の容量制限を行います。

■ 容量制限の一覧

容量制限を設定するパーティションを選択します。



「選択」ボタンをクリックして次の設定へ進みます。



ユーザー毎の容量制限編集を行います。

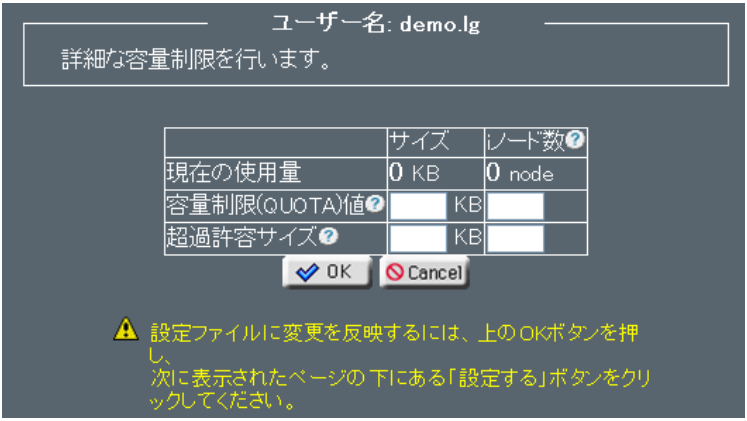
一度に表示される件数の初期値は 10 となっています。一度に表示する件数を増やす場合は、「一度に表示する件数」の数値を変更し、「表示」ボタンをクリックします。

また、システムアカウントも表示する場合は、「システムアカウントも含めて表示」を選択し、「表示」ボタンをクリックします。

> ⚠ システムアカウントは、root でログインした時にのみ表示されます。

容量制限を編集するユーザーの「編集」ボタンをクリックします。

容量制限の設定画面が表示されます。



「容量制限(QUOTA)値」「超過許容サイズ」、それぞれについて、サイズ、i ノード、による容量制限を設定します。

「OK」をクリックして、「ユーザーQUOTA 編集」画面に戻ります。

> ⚠ 超過許容サイズは、容量制限値を一時的に超えて使用することを許可する最大サイズとなります。
>
> 必ず容量制限値より大きな値を設定してください。

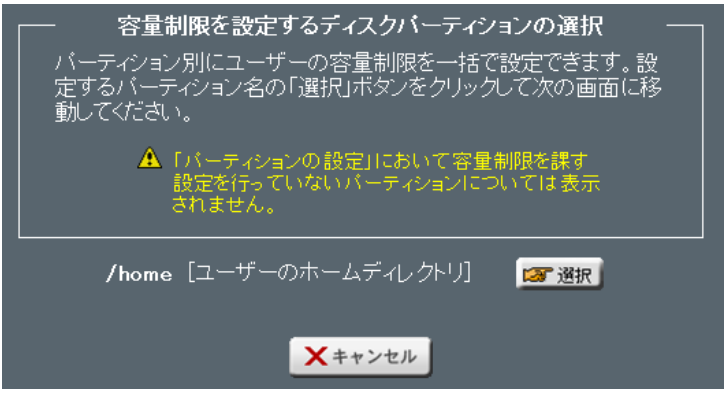
「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

3. 容量制限一括設定

パーティション別にユーザーの容量制限の設定を一括して行います。

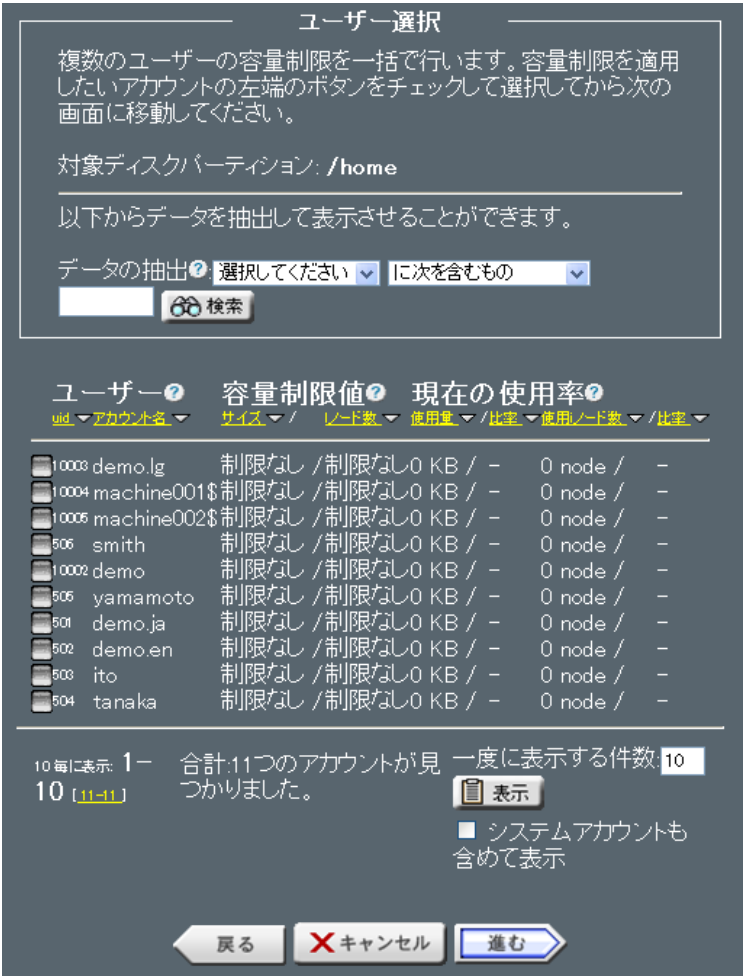
■ 容量制限の一覧

容量制限を設定するパーティションを選択します。



「選択」ボタンをクリックして次の設定へ進みます。

アカウントの選択画面が表示されます。



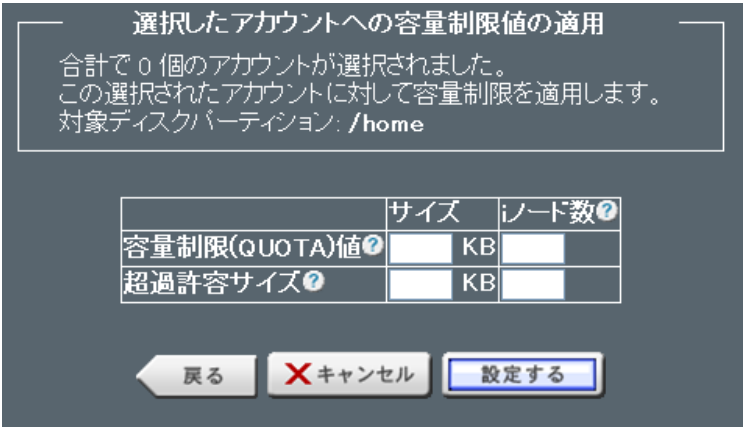
アカウントを検索する場合は、検索条件として、「データの抽出」をする場合は、メニューから抽出内容を選択し、検索キーワードを入力して、検索の一致形式を選択します。

「検索」ボタンをクリックして、検索を実行します。

検索結果の表示件数を変更する場合は、「一度に表示する件数」の値を変更し、「表示」ボタンをクリックします。

容量制限を設定するユーザーを選択し、「進む」ボタンをクリックして、次の設定へ進みます。

容量制限の設定画面が表示されます。



「容量制限(QUOTA)値」「超過許容サイズ」、それぞれについて、サイズ、i ノード、による容量制限を設定します。

「OK」をクリックして、「ユーザーQUOTA 編集」画面に戻ります。

> ⚠ 超過許容サイズは、容量制限値を一時的に超えて使用することを許可する最大サイズとなります。
>
> 必ず容量制限値より大きな値を設定してください。